

次代の人材育成 「探求心不可欠」

神奈川 高校と大学の連携を深めて次代を担う人材育成につなげようと、神奈川大学高



大連携協議会フォーラムが2日、横浜市神奈川区の同大横浜キャンパスで開かれた。「探求のプロセスを考える」をテーマに教育関係者ら約300人が聴講した。協議会は同大や県内外の高校などで構成され、フォーラムは14回目。

冒頭、協議会の会長を務める同大の兼子良夫学長が「変容する資本主義社会をしながらに生き抜き、また新たなアイデアを生み出す若者を育成する場になれば」とあいさつした。

基調講演では溝上慎一・桐蔭横浜大特任教授が「トランジション（移行）を見据えた総合的な探求の時間」と題し、「これまでの

学校教育では仕事、社会で求められるものが育成されていない。問題解決スキルの前に、探求のマインドの育成が不可欠」と説いた。

写真。探求活動の実践例として市立横浜総合高や県立市ケ尾高の取り組みなどが発表された。